

# 原発のツケを子どもにまわさない

本気で止めるぞ原発

2012年2月11日 秋田県民集会に秋田地連が参加した。



秋田県平和センターの呼びかけで、2月11日、秋田駅前のアゴラ広場において「2・11本気で止めるぞ原発を！秋田県民集会」が開催されました。厳寒の空の下、吹雪と氷点下3度の会場に、平和労組会議や市民団体などから、約500人が結集し、全自交秋田地連も積極的に参加しました。

参加者は、原発反対運動の力の無さが福島第一原発の重大事故を招いてしまった事を反省し本気で全ての原発を止める事を誓い合うアピールを採択した後、駅前周辺をデモ行進して、全力で脱原発を訴えました。

集会では、伊藤正通平和センター副代表が主催者代表挨拶を行い、仙葉平和センター幹事が幹事が基調報告を行いました。また、セシウム焼却灰受け入れに反対している母の会の菅原あつ子さんが発言し、焼却灰での核の拡散と次世代の子供たちに原発の付けをまわさない決意を語りました。

続いて、参加者たちは吹雪の中、プラカードや組合旗を掲げ、同駅前周辺を行進しました。全自交秋田地連はこの集会を機に「3・11福島集会」の成功と「1,000万人署名」の最後の追い込みに奮闘することにしています。

